

第26回人流データ利活用研究会 議事概要

1. 日時 2023年4月26日(水) 15:00~17:00
2. 場所 総務省第二庁舎408室
3. 議事内容
 - (1) 宿泊旅行統計調査シミュレーション全国展開 (2023年.1月統計値確定基準)
 - 12月までのデータを用いた1月値の予測は学習期間へのフィッティングと予測値との乖離とも、全体的に良好であった
 - 6か月RMSPEが15%を超えた県は徳島県のみ
 - 乖離率が25%を超えた県は4県あった
 - 徳島県の乖離率は21.3%である
 - 1月分までのデータを用いた2月値予測も、モデルのフィッティングは全体的に良好
 - 6か月RMSPEが15%を超える県は3県(鳥取、山口、徳島)
 - 予測との乖離には、これまでの結果を反映した推計適中ステータスと当該県の人口規模が影響を与えている
 - (2) 宿泊者数予測シミュレーション市区町村 (2023.1月統計値確定基準)
 - 横浜市、京都市ともに乖離率が小さく、2月分析もモデルのフィッティングがよい
 - (3) 基地局データを使用した宿泊者数予測シミュレーションについて
 - 使用する基地局データでは、メッシュ内人口の居住/非居住別の内訳が提供されているため、「国勢調査」の常駐地人口を差し引く必要がない
 - 神奈川県と京都府で、2019.10-2022.12と2020.04-2022.12の2つの期間について単回帰を行い、これまでのGPSデータを用いた分析との比較を行った
 - 基地局データによる神奈川県・京都府での分析結果は、6か月RMSPE・乖離率ともGPSデータと同程度であり、当分析において適用することが可能である s
 - (4) 宿泊者数予測における人流データ比較
 - 複数の人流データについて指標値等を比較
 - 京都市と横浜市については各社間の値、および統計値との相関は高いものとなっていた
 - (5) 基地局データを使った集計試行
 - K県の2つの市について4時台人口を入院者数とみなして集計
 - 病院の4次メッシュは県の医療機関名簿を用いて作成
 - 新型コロナ拡大期の落ち込みも的確に捉えており、トレンドを見る限りは、入院患者数の動きをうまくシミュレートしている可能性
 - (6) その他
 - 次回研究会は6月14日(水) 15:00~17:00に総務省第二庁舎で開催

以上